



# 2020年3月期 第2四半期決算説明会

サンコーテクノ株式会社  
(証券コード：3435)

2019年11月29日



1

## 2020年3月期第2四半期（累計）

- 売上高は前年同期比15.0%増、営業利益は同14.8%増
- 上半期として、売上高は過去最高、営業利益は2015年3月期に次ぐ高い水準

2

## 2020年3月期計画

- 期初計画据え置き

3

## 中期経営ビジョン・中期戦略への取組み

- 「平均売上高成長率：5%/売上高営業利益率：8%(中長期目標)に向けた業容拡大・収益構造強化を積極推進
- 新製品投入、積極投資、グループ間連携強化 等



- 2020年3月期第2四半期実績報告
- 2020年3月期計画
- 中期経営ビジョン・中期戦略への取組み

# 2020年3月期 第2四半期（累計）実績



(百万円)

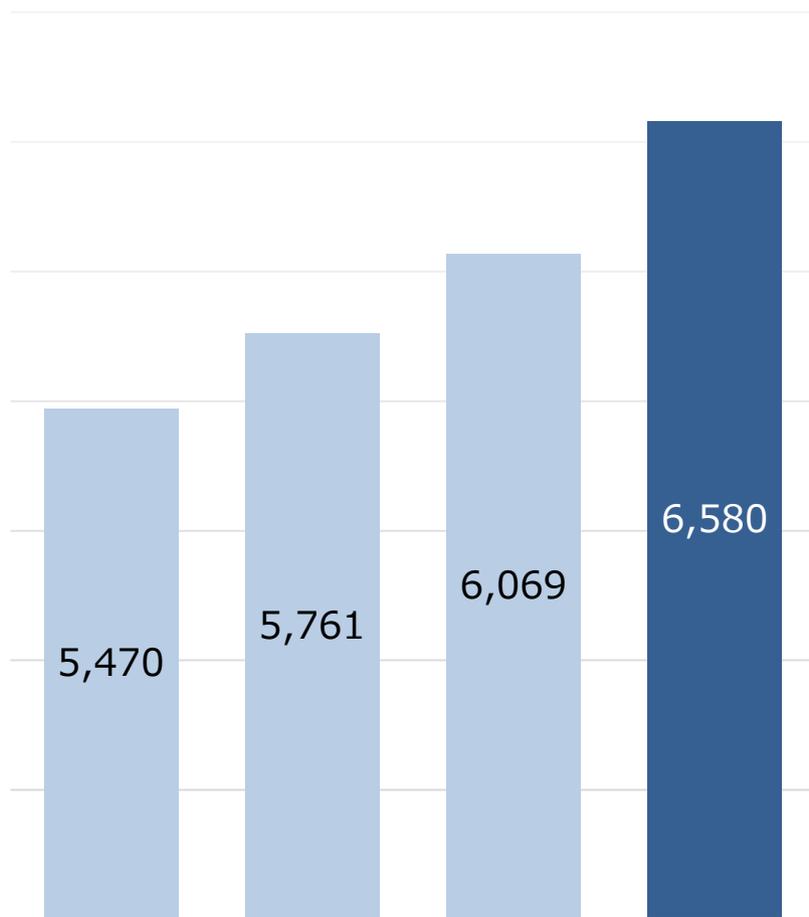
	2019年3月期 第2Q累計実績	2020年3月期 第2Q累計実績	前年同期比	
売上高	<b>7,592</b>	<b>8,734</b>	+15.0%	+1,142
売上原価	<b>5,196</b>	<b>6,092</b>	+17.3%	+896
販管費	<b>1,902</b>	<b>2,075</b>	+9.1%	+172
営業利益	<b>493</b>	<b>566</b>	+14.8%	+73
同利益率	<b>6.5%</b>	<b>6.5%</b>	—	+0.0 p
経常利益	<b>520</b>	<b>572</b>	+10.0%	+51
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>337</b>	<b>362</b>	+7.7%	+25

- 新規連結による増収効果513百万円もあって、売上高は増収率15.0%に上昇。
- 浦和電研(株):2019年4月連結、成光産業(株)・成光パック(株)：同年7月連結
- 営業利益は、既存事業の増収効果もあり、運送費等の増加もある中、前年同期比14.8%増
- 新製品：ST-2000（9月2日発売）の開発費用を計上



## 売上高推移（第2四半期累計）

(百万円)



2017年3月期 2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期

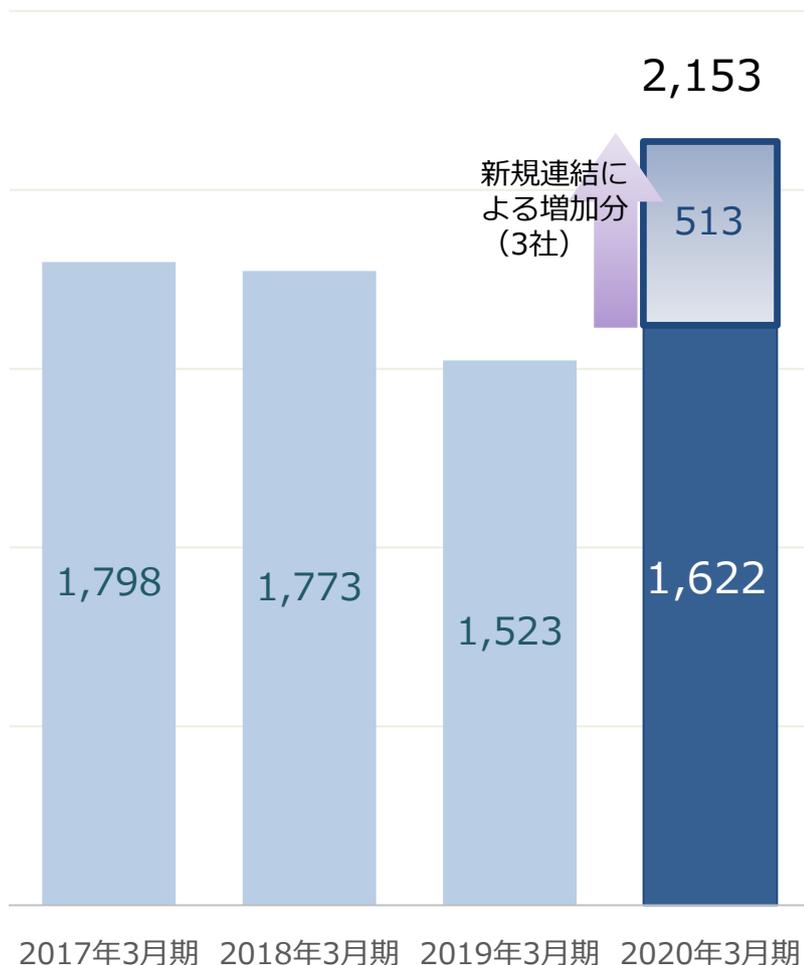
	実績(百万円)	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>6,580</b>	<b>+8.4%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>783</b>	<b>+4.1%</b>

- 金属系あと施工アンカー  
主力製品を中心に好調に推移
- 接着系あと施工アンカー  
設計折込みによる販売増
- 各種工事関連  
土木・インフラ関係を中心に完成工事高が増加



## 売上高推移（第2四半期累計）

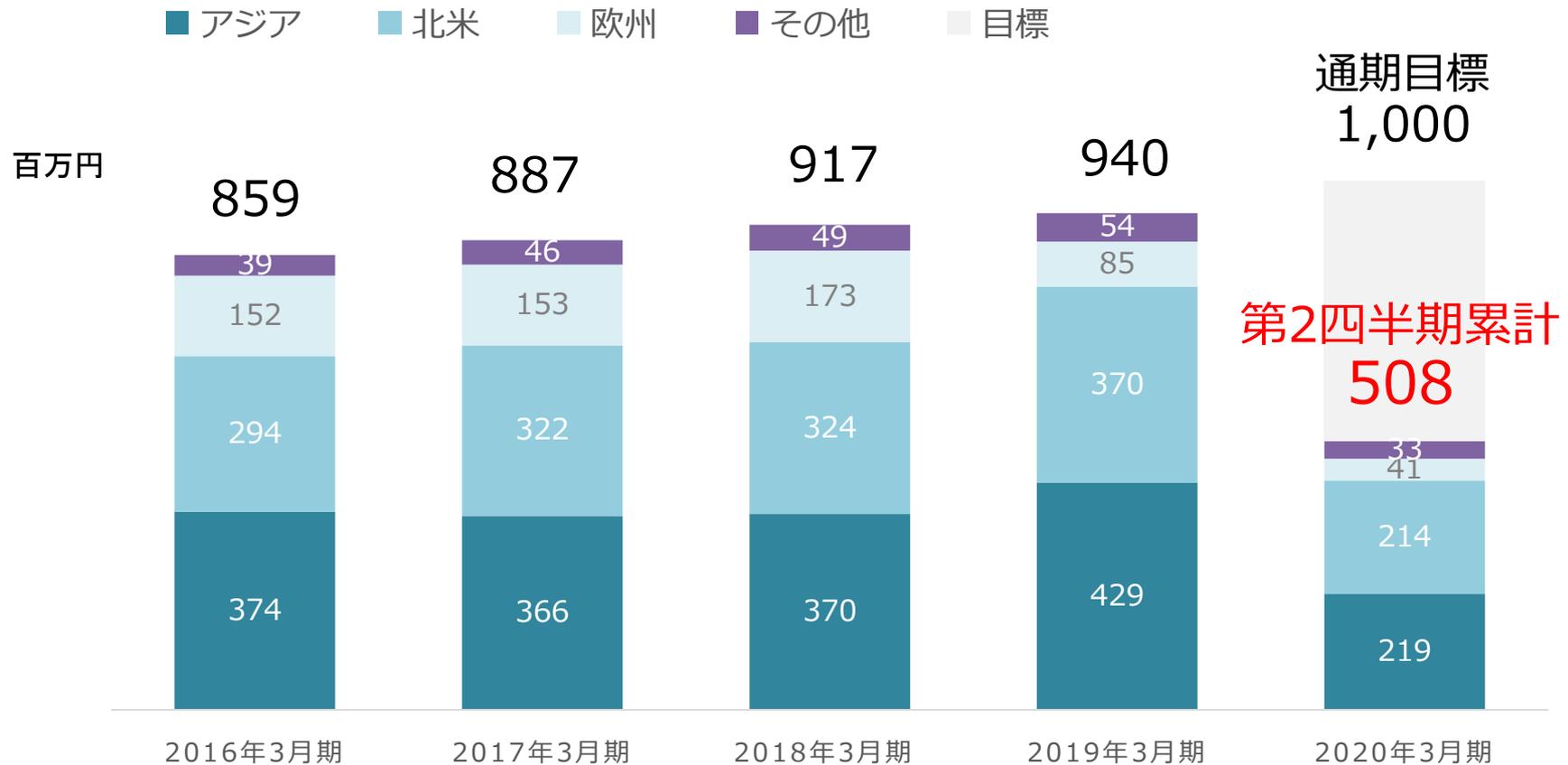
(百万円)



	実績(百万円)	前年同期比
<b>売上高</b>	<b>2,153</b>	<b>+41.4%</b>
<b>セグメント利益</b>	<b>192</b>	<b>+34.3%</b>

- 電動油圧工具関連  
国内・海外ともに売上増
- 電子基板及びアルコール検知器関連  
アルコール検知器はメンテナンス売上増  
浦和電研(株)グループ化による増収効果
- FRPシート関連  
前期事業再編の影響が一部残り前年比減
- 包装・物流機器関連  
成光産業(株)・成光パック(株)グループ化による増収効果

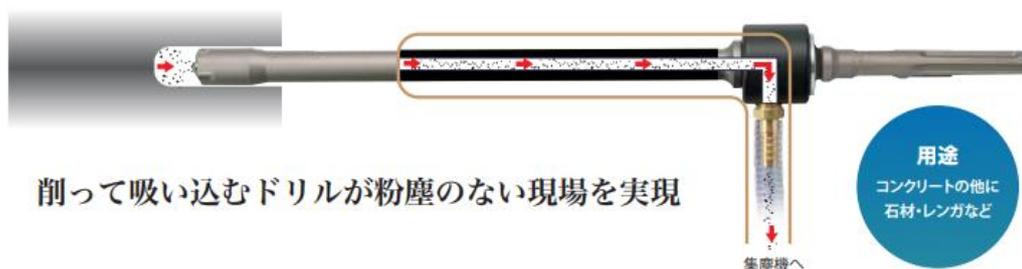
## 地域別海外売上高推移



通期目標10億円 北米・東南アジアにおいて販売が好調



## ▶ パワーキュージンドリル PQ4M (4月新発売)



削って吸い込むドリルが粉塵のない現場を実現

削って吸い込むドリルが粉塵のない現場を実現

上向きや室内の作業に威力発揮

## ▶ アスファルト舗装用アンカーに関する施工ガイドの公開 (8月)



ハードエッジアンカー



ハードエッジアンカー IS SYSTEM  
EX-350

自社ホームページ上にてガイド掲載

- ①ハードエッジアンカーおよび接着系アンカー EX-350を用いた施工方法の提案
- ②専用アンカーの開発提案

潜在ニーズに対応・困りごと解消へ



アルコール測定と本人確認に特化した  
業務用呼気アルコール検知器（9月発売）

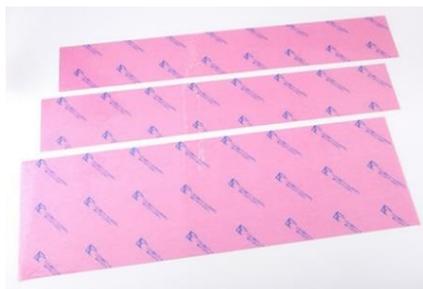
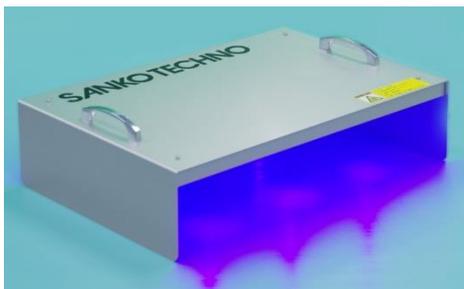


らくらく設置、簡単操作。顔写真自動撮影で本人確認。

ALCFace  
アルコフェイス

シンプルで直観的な操作が可能  
顔写真の自動印刷機能つき

e-シート硬化用紫外線LED照射機  
e-キュアUVライト（9月発売）



e-シートTを使用した歩道橋等の防食・補修工事に

- 2020年3月期第2四半期実績報告
- 2020年3月期計画
- 中期経営ビジョン・中期戦略への取組み



## 社会的ニーズの高まり

- 高度経済成長期に整備された各種インフラに幅広く、維持・保全・補修のニーズが拡大
- 建設技能労働者等の人手不足を背景とした、効率化・自動化へのニーズの高まり
- 相次ぐ自然災害を背景に、強度性能・安全性に対するニーズの高まり

## 外部環境の認識

## 国土強靱化計画関連へのシフト

・ オリンピック関連

- ・ 都市再開発関連
- ・ 耐震補強工事を含むインフラ補修等

民間・公共設備投資は堅調

2020年

中長期



穿孔



施工



強度確認

□ 高付加価値製品へのシフト

□ 市場の創出

コスト売りへのシフト

- 適正な在庫確保による安定供給
- 現場営業を通じたスペック・改良開発
- 独自工法の獲得・営業推進
- 土木関連における関係強化

- お客様の課題を解決  
「製品」「技術」「サービス」
- CPM (※) 体制強化

2020年

中長期

(※) CPM : Cross Project Management(クロスプロジェクトマネジメント)



(前年同期比)

売上高 **18,300百万円** (+7.5%)

営業利益 **1,390百万円** (+5.5%)

経常利益 **1,410百万円** (+5.7%)

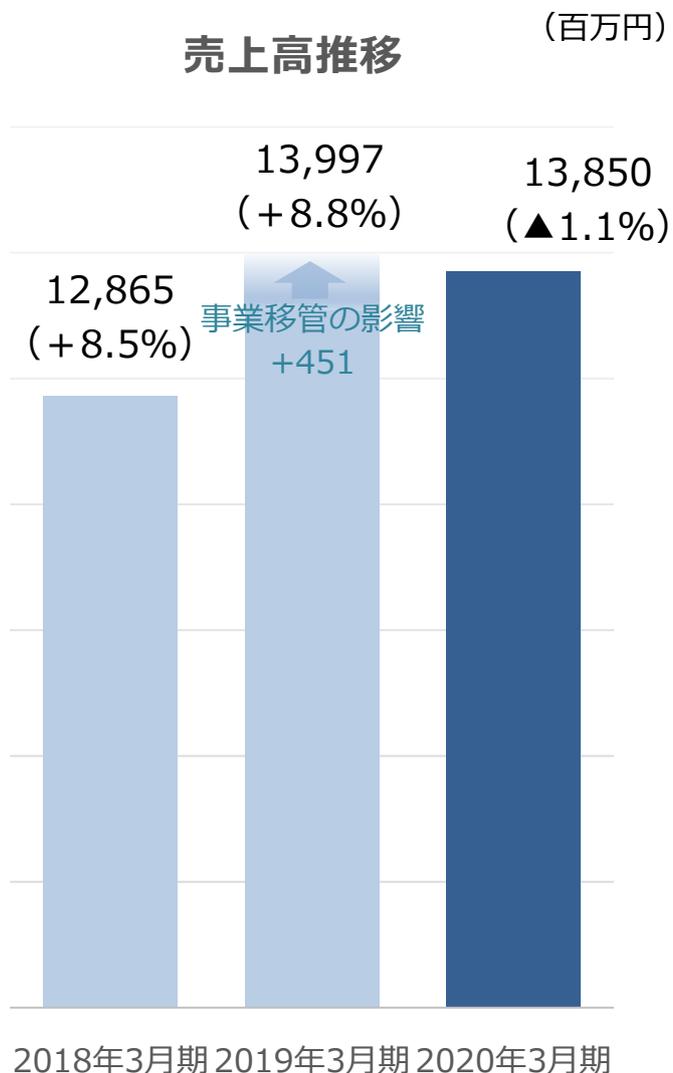
親会社株主に帰属する

当期純利益 **965百万円** (+2.3%)

※2019年5月14日公表の業績予想から変更しておりません。



## ▶ 2020年3月期目標：13,850百万円



### ■ 金属系アンカー

- ・オリンピック関連工事は、3Q以降徐々に減少
- ・土木系の維持・保全・補修事業へ営業活動をシフト

### ■ 接着系アンカー

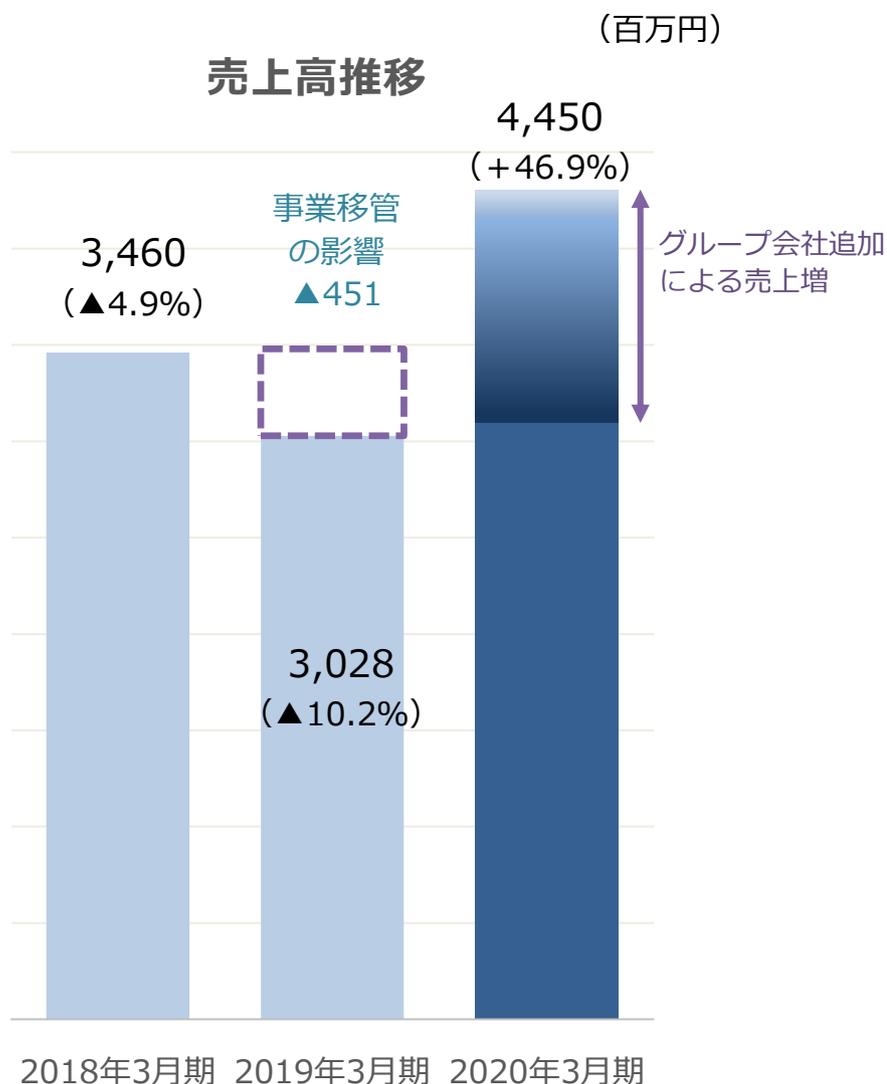
- ・土木向けに大容量タイプを新発売「サイズミックエコファイラーSE-1300」(2019.12.2発売)

### ■ 各種工事関連

- ・引き続き土木分野に注力
- ・中長期の視点で、独自工法・土木向け製品の浸透を進める
- ・建設耐震工事も案件増の見通し



## ▶ 2020年3月期目標：4,450百万円



### ■ 電動油圧工具

- ・ 国内/海外とも堅調に推移する見通し
- ・ 36Vコードレスシリーズ等の新製品が引き続き好調

### ■ アルコール検知器・電子基板関連

- ・ アルコール検知器：  
新商品ST-2000の販促PRに注力
- ・ 電子基板関連：  
(株)スイコーと浦和電研(株)との協調体制で  
展示会共同出展

### ■ FRPシート関連

- ・ 歩道橋補修工法のPR・全社営業
- ・ 特性を生かした用途拡大に取り組む

### ■ 包装・物流機器関連

- ・ 成光産業(株)当社営業部門との連携
- ・ 安定成長に向け経営基盤を強化



- 2020年3月期第2四半期実績報告
- 2020年3月期計画
- 中期経営ビジョン・中期戦略への取組み



Go for NEXT

S.T.G VISION 2020

私たちは <sup>ファスニング</sup> 独自の締結システムで、安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

## 3つの“カ”（パワー）をアップ



2015年4月～

2015年3月期業績

売上高 : 17,835百万円

営業利益 : 1,511百万円

(売上高営業利益率 : 8.5%)

2020年までに、  
外部環境に左右されず  
安定成長を実現する  
基盤・体制を構築

### 中長期目標

平均売上高成長率 : 5%

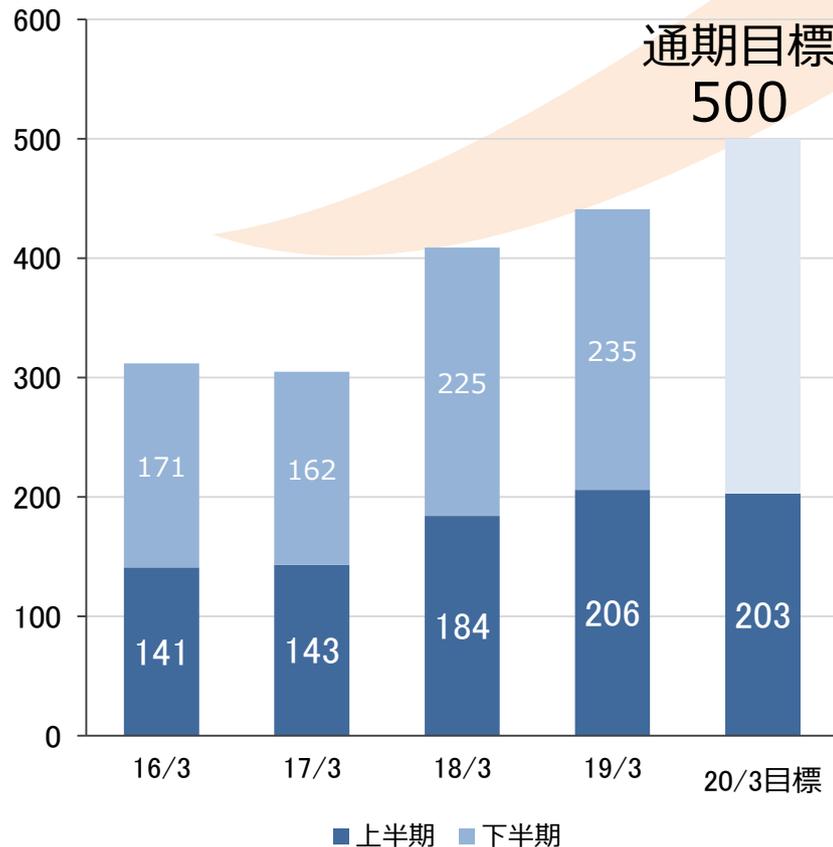
売上高営業利益率 : 8%

## ファスニング事業 インフラ土木・補修・保全工事への販売強化

2020年3月期注力製品群は32%増 中長期視点で臨む

### 土木向け製品の販売状況

(百万円)



2020年3月期通期目標 5億円  
 →上半期実績 203百万円  
 (前年同期比▲0.01%)

### 2020年3月期注力製品群

通期目標160百万円

⇒上半期実績 76百万円

(前年同期比+32%)

(メタルセーフアンカー  
 メタルロックアンカー  
 サイズミックエコフィラー)



## 『自穿孔型拡底式あと施工アンカー』新技術

自穿孔による拡底式で高い引張力を実現、専用ツールでアンカー抜取りも可能



【拡底部の削孔状態】



2019.9.26リリース

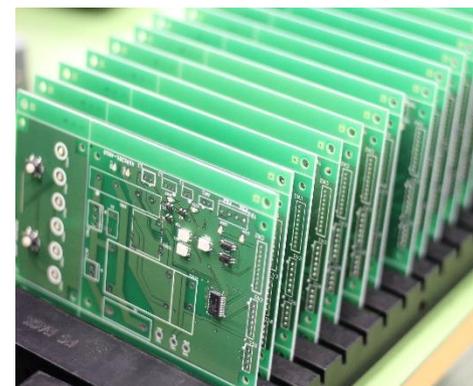
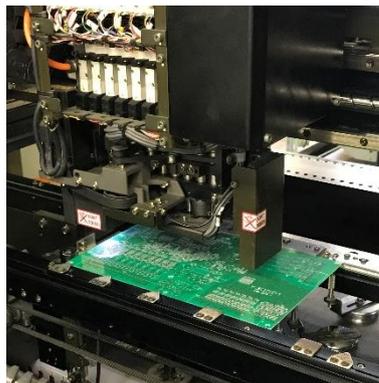
施工手順の簡素化・高い耐久性・引張力が求められる箇所の施工に  
土木・インフラ関係の天井設備取付等に

## 機能材事業

## グループ連携強化、そして第2の柱へ

電子基板事業

スイコー × 浦和電研 = 対応技術の拡大・顧客の拡大・業容の拡大

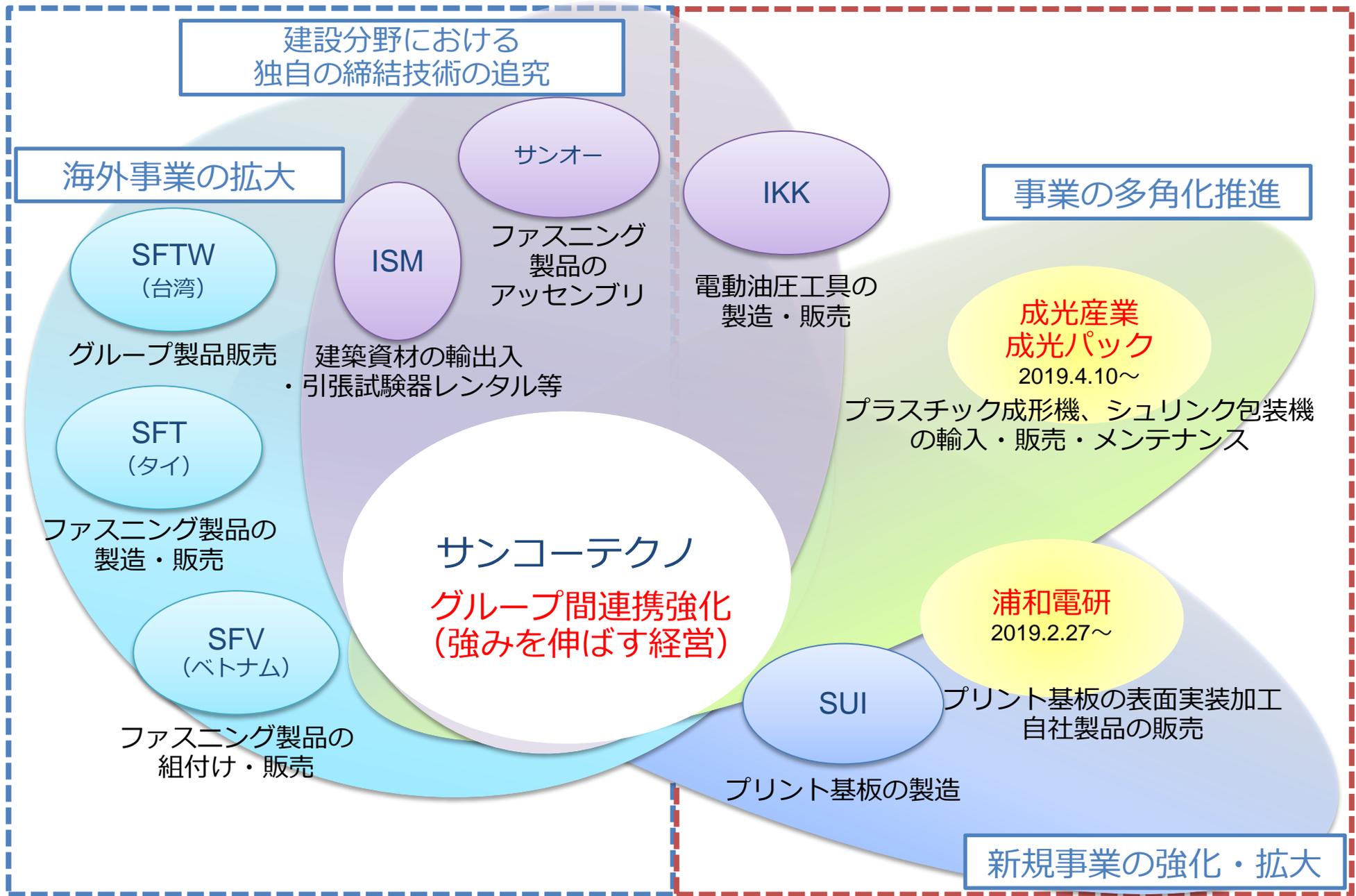


成光産業 × サンコーテクノ

= 成光産業 エリア拡大・営業強化 + サンコーテクノ 顧客サービスの向上

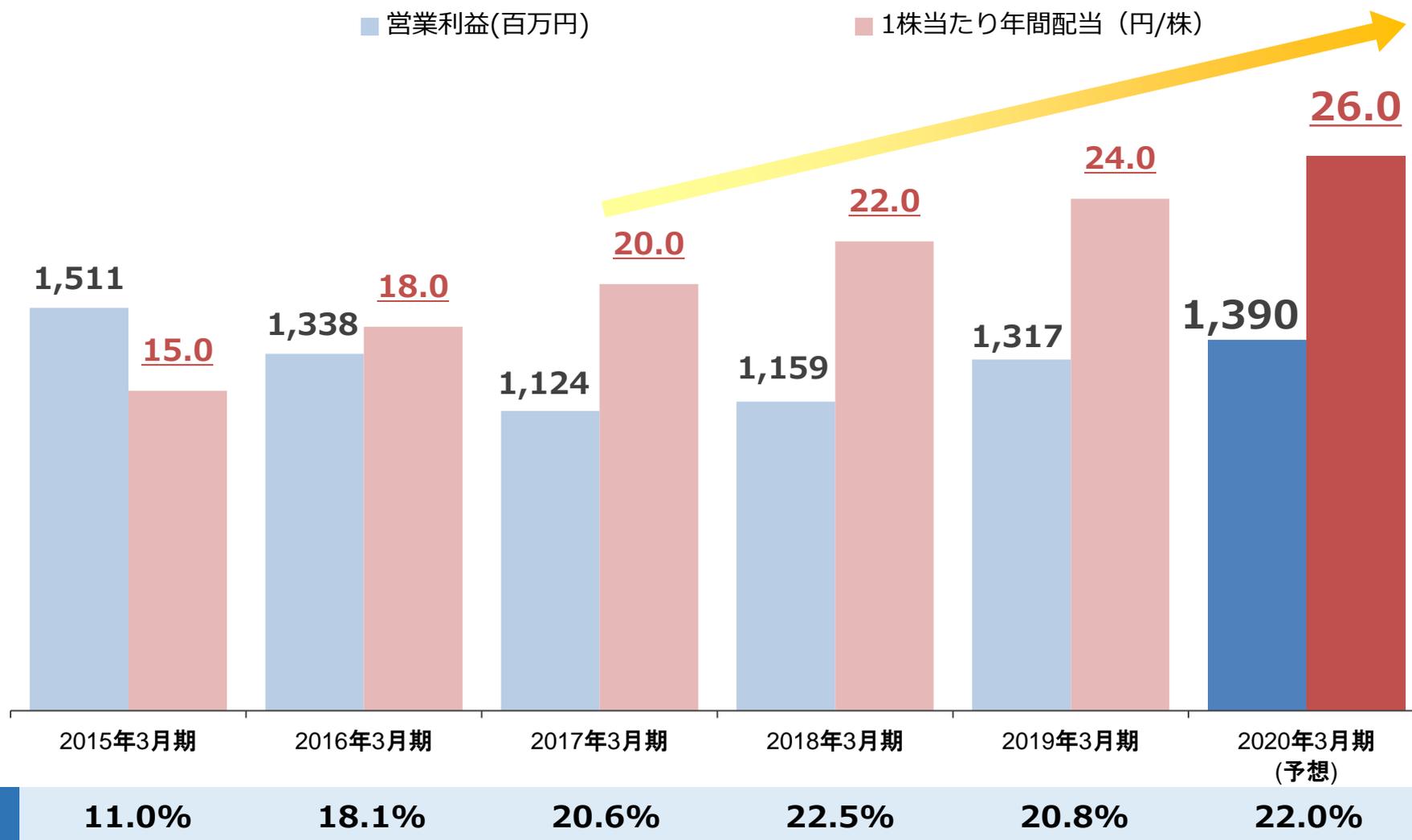


# グループ戦略 連携強化





安定した配当の継続を重視、2円増配の26円を予想





# 補足資料



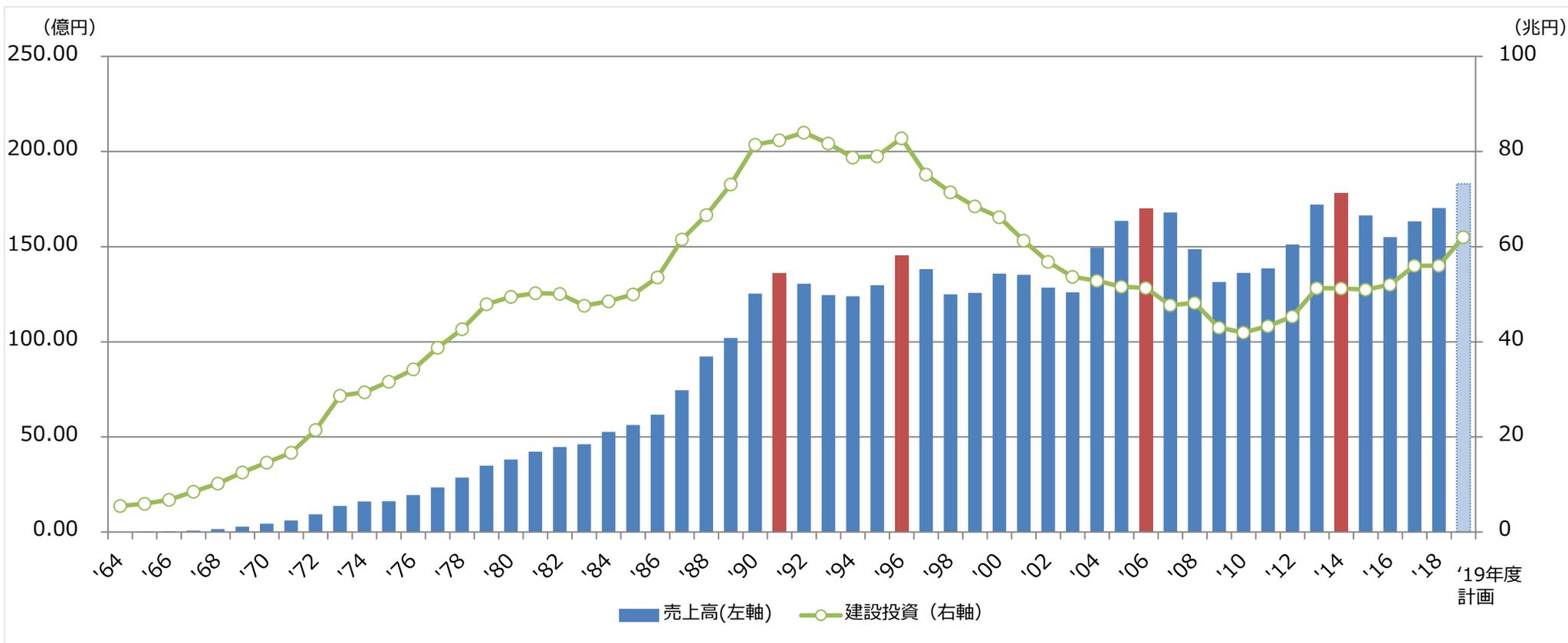
社名	サンコーテクノ株式会社(銘柄コード3435)
代表者	洞下 英人 (ほらげ ひでと)
本社所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16
社員数	連結584名 単体312名
資本金	768百万円
国内拠点	全国20拠点
連結子会社数	9社(海外3社含む)
設立	1964年5月
市場	東証第二部：2015年5月 (JASDAQ：2005年6月)
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none"><li>■ あと施工アンカーを中心とした建設用ファスニング製品</li><li>■ 電動油圧工具および各種電動工具・試験機</li><li>■ 耐震補強・FRP関連商材・太陽光関連商材</li><li>■ 各種測定器および電子基板関連</li></ul>

2019年9月末現在

# 当社成長の軌跡



- ・1964年 三幸商事設立
- ・1965年 オールアンカー開発・実用新案登録
- ・1966年 三幸工業設立
- ・1988年 SANKO FASTEMTHAILAND) .LTD (タイ工場)
- ・1988年 三幸商事顧問股份有限公司(台湾) 設立
- ・1993年 西部物流センター開設
- ・1996年 三幸商事・三幸工業合併により  
サンコーテクノ誕生
- ・1998年 中央物流センター開設
- ・2002年 ものづくりテクニカルセンター開設
- ・2003年 (株)スイコー子会社化
- ・2004年 (株)I K K子会社化
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式上場
- ・2006年 アイエスエム・インタナショナル(株)子会社化
- ・2011年 SANKO FASTEM (VIETNAM)LTD.設立
- ・2015年 東証第二部へ市場変更
- ・2018年 技術研究所 創設
- ・2019年 浦和電研(株)子会社化
- ・2019年 成光産業(株)および成光パック(株)子会社化(4月)



**フェーズ①成長への始動**

- ・国内拠点の拡充  
(全国販売網の確立)

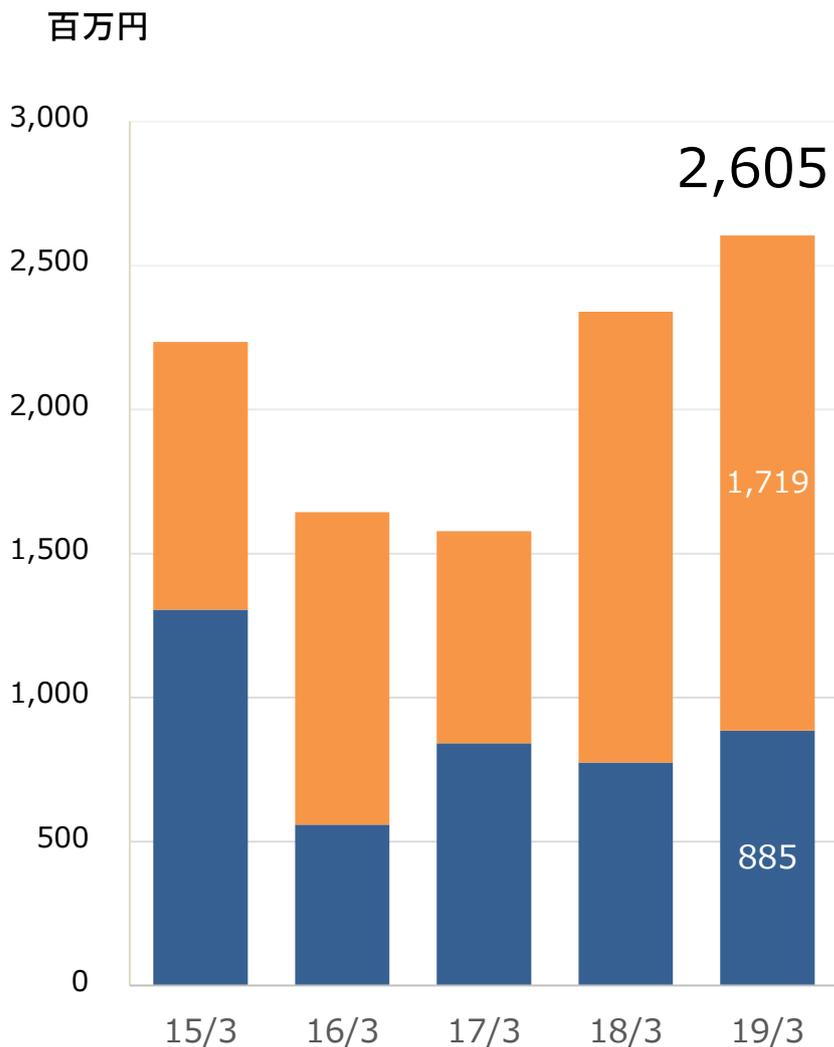
**フェーズ②転換期**

- ・製造と物流拠点の再構築
- ・工事部門の設立

**フェーズ③持続的成長へ**

産学連携の開発体制の構築

## 各種工事売上高推移



### 土木分野



一面補強工法  
(鉄道高架橋等の耐震補強)



カルバート構造物の  
せん断補強工法



フェールセーフ対策



不感知対策工事

### 建築分野



耐震補強工事

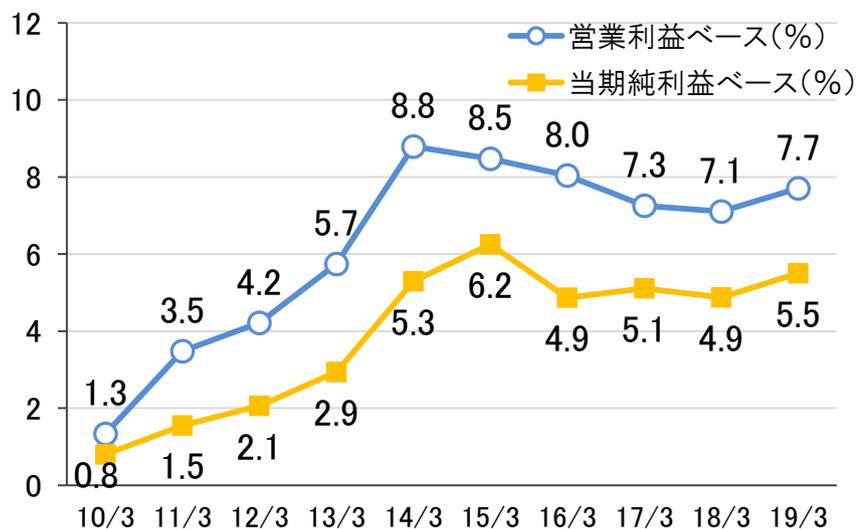


太陽光発電システム設置

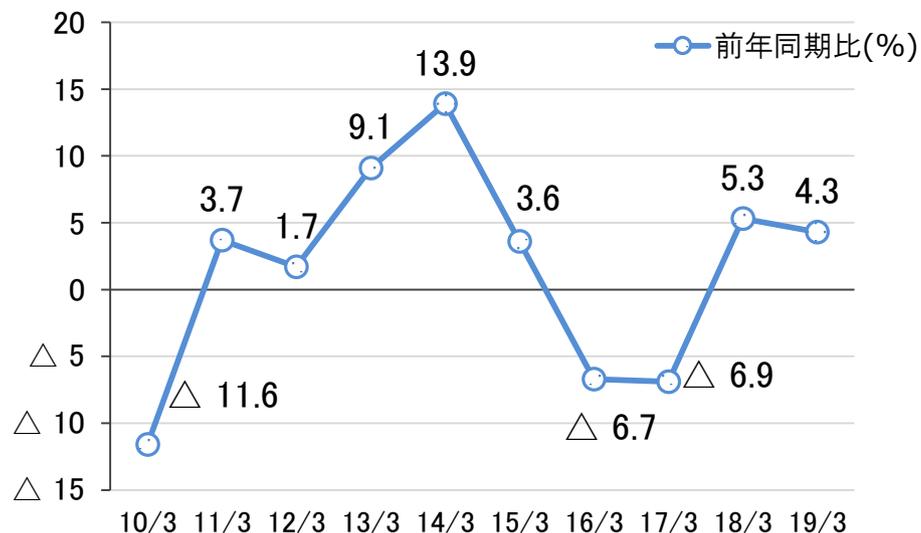
# 主な経営指標の推移



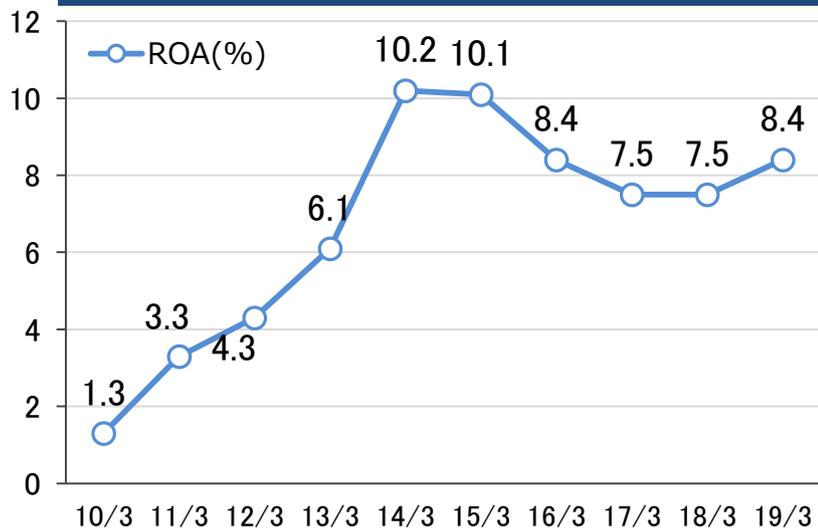
## ROS(売上高利益率)



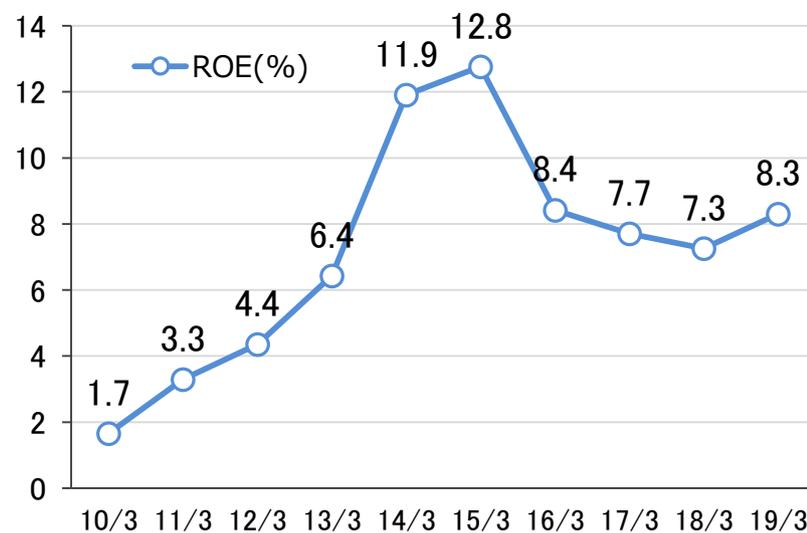
## 売上高成長率



## ROA(総資産経常利益率)



## ROE(自己資本利益率)



- 本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、公表日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

# サンコーテクノ株式会社